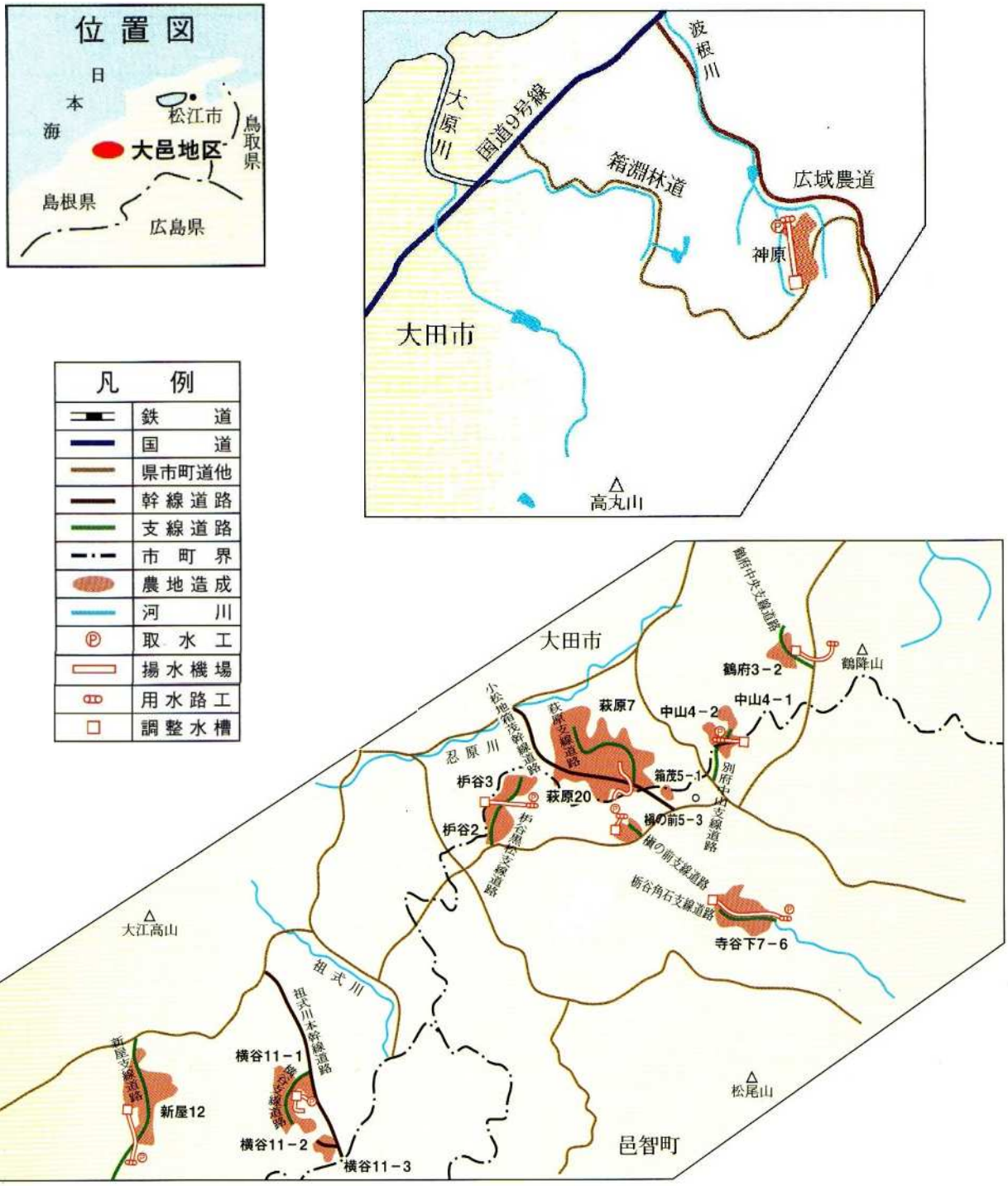
## 大邑地区　国営農地開発事業の概要（大田市・邑智郡美郷町）

大田市と邑智郡美郷町（旧邑智町）の郡市境界周辺に広がる標高 200～300m の山林原野 908.3ha を開発して 220.7ha の農地を造成し、畑地かんがい施設を整備しました。造成した農地では飼料作物等が作付けされ、畜産経営を中心とした農業が営まれています。

工　期　　昭和 54 年度～平成５年度　　受益農家戸数　40 戸 4 法人

| 区　　分 | 農地造成 | 配水施設 | 用　水　路 | 道　　路 | 防災施設 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事　業　量 | 220.7ha | － | 雑用水施設<br>９　ヶ　所 | 20.9km | 1　式 |

位置図



## Ⅲ 大邑地区の概要

### １　地区の概要

本地区は、島根県のほぼ中央部に位置する大田市及び邑智郡美郷町にあり、東には標高 1,126m の三瓶山、西に 808m の大江高山があって、これを主峰とする連山に囲まれていることから平担地に乏しく、全体の 80%が山林原野で耕地はわずか 7%の山村及び農山村地帯です。

気候は比較的温暖で、大田市では年平均気温 15.1℃、年平均降水量は 1,738 ㎜、初霜は標高 300m 以上では 10 月下旬頃、終霜は 5 月中旬、初雪は 11 月頃、終雪は 3 月です。

事業実施前の地区の産業構造は、第二次、第三次産業とも主だったものは少なく、農業就業者の総就業者に占める割合は 27%と農業が基幹産業となっていました。また、農業は水稲を基幹作目とし、野菜、果樹、畜産などを組み合わせた山村特有の零細な複合経営が主体でした。一戸当たりの耕地規模は 61a と零細であり、加えて米の生産調整等によって農業生産は停滞し、農業所得への依存度が低下していました。

このため、未利用の開発可能地に自然と調和した農地開発を行い、現状の農業構造を改善して農業生産の増大と自立経営農家の育成を図ることとしました。

また、平成 19 年 7 月には石見銀山遺跡が世界遺産として登録されました。これをきっかけに開発地では従来の畜産経営主体の土地利用に加えて、石見銀山ゆかりの代官いも（さつまいも）の栽培が始まりました。

### ２　営農推進の状況

#### （１）経過

昭和 55 年度に着工した農地造成は、平成 5 年度に造成面積 221ha をもって完了しました。

昭和 58 年度以降、葉たばこ、飼料作物、かき（西条）を中心に栽培されてきましたが、葉たばこの廃業やかきの栽培が減少しました。この一方で、健康志向の高まりもありブルーベリー、大麦若葉、ナタマメといった健康食品の原材料作物が栽培されるようになりました。

平成 15 年度からは「国営農地開発事業完了地区営農ネットワーク事業（農村振興支援総合対策事業：国庫)」を導入し、以降、平成 19 年度まで国や県の補助事業を活用して開発地の利用ビジョンの策定とモデル圃の設置、さつまいものブランド化に向けた取り組みが行われました。

また、集団的組織的生産活動を目標に生産組織の育成が重点的に進められました。その結果、酪農や肥育の法人経営が展開されたほか、近年では企業の参入も進んでいます。

こうした新たな担い手の参入を受け、美郷町では分散していた農地を担い手ごとに団地内で連担化させて農作業等の効率化やコスト低減につなげる取り組みが行われました。

このほか、前述のとおり畜産の法人経営が多いことから、平成 24 年度より寺谷地区では家畜防疫対策の強化の一環として、三種混合ワクチンの接種助成措置を講ずる取り組みが行われています。

## （２）作物の作付状況

「国営農地開発地における作物作付状況調査結果」による作付状況は次のとおりです。

① 大型畜産経営体が多いため、作物の作付けは飼料作物が約９割を占めています。

② 全体的に輸入飼料の高騰により生産コストが上昇しており、飼料作物の中でも栄養価が高い飼料用トウモロコシの栽培が増加しています。

大邑地区開発地の利用状況　（単位：ha）

| | H29 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | R07 | R07−R06 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 飼料作物 | 148.0 | 149.7 | 149.5 | 149.5 | 149.5 | 149.6 | 150.3 | 150.3 | 146.5 | −3.8 |
| 野菜 | 0.2 | 1.2 | 1.4 | 1.2 | 1.2 | 0.8 | 1.0 | 0.4 | 0.2 | −0.8 |
| さつまいも | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | −0.2 |
| 果樹 | 0.3 | 1.5 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.0 |
| 西条柿 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.0 |
| ブルーベリー | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 加工用作物 | 2.9 | 1.0 | 1.5 | 1.7 | 1.7 | 5.3 | 3.4 | 3.7 | 4.9 | 1.5 |
| 大麦若葉 | 2.9 | 0.5 | 1.0 | 1.6 | 1.6 | 3.9 | 3.3 | 3.5 | 4.2 | 0.9 |
| その他作物 | 4.3 | 3.7 | 7.1 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 6.4 | 6.4 | −0.6 |
| その他 | 6.0 | 3.6 | 4.5 | 1.1 | 1.1 | 0.7 | 0.3 | 0.9 | 1.1 | 0.8 |
| 作付面積計 | 161.7 | 160.7 | 164.3 | 160.8 | 160.8 | 163.9 | 162.5 | 162.2 | 159.6 | −2.9 |
| 作付準備 | 3.8 | 6.8 | 5.5 | 4.3 | 4.3 | 1.4 | 2.8 | 3.1 | 2.2 | −0.6 |
| 作付休閑 | 4.5 | 2.5 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 遊休農地 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 計(要活用農地) | 4.5 | 2.5 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 開発地面積 | 170.0 | 170.0 | 170.0 | 165.3 | 165.3 | 165.3 | 165.3 | 165.3 | 161.8 | −3.5 |

※「その他」：牛舎を含む

【 大邑地区・営農状況（写真　左：えごま、右：牛の放牧】



